

日建設計

空飛ぶクルマに関する取組みのご紹介

2025.08.28 空の移動革命に向けた官民協議会

都市・社会基盤部門 スカイスケープデザインラボ課



会社概要

建築家、エンジニア、プランナーなど多種多様な専門性を融合、プロフェッショナル・サービス・ファームとして事業を展開しています。

空飛ぶクルマ関連では、駅まち一体開発（TOD）や空港ターミナルビル、ヘリポート、緊急離着陸場などの交通関連施設の経験を活かして取り組んでいます。

1,900年 創業

2,470名 従業員数

18拠点 国内

9か国 15拠点 海外

819件 過去の5年間の建築関連受賞数



駅まち一体開発（TOD：Transit Oriented Development）



空港ターミナルビル



ヘリポート



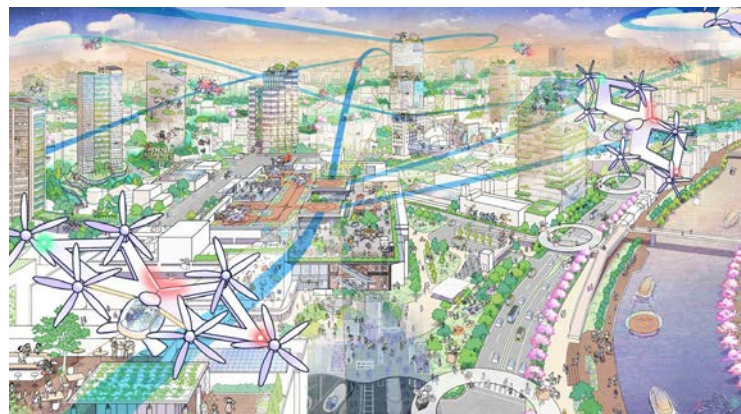
緊急離着陸場

自主研究・提案

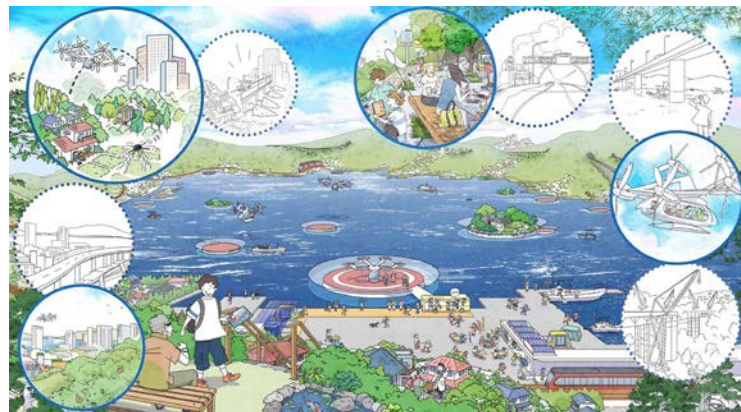
長期的視点が重要なまちづくり・建築づくりに、次世代エアモビリティの検討が不可欠であることにいち早く着目し、様々な自主研究・提案を行ってまいりました。



生活と共にある空港：パークポート



空路と都市計画：ショッピングモールポート



地方創生：フローティングポート

自治体による実装へ向けた取り組みへのご協力

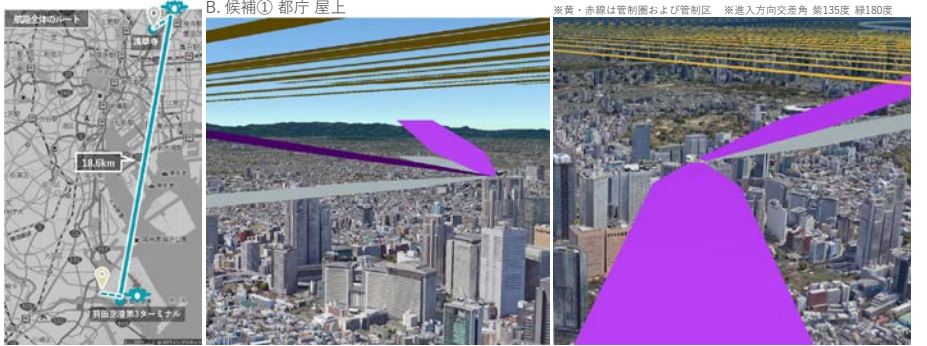
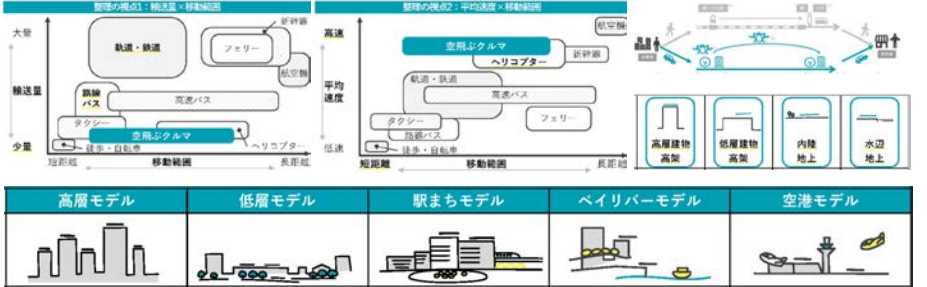
令和5年度 空飛ぶクルマ社会実装事業環境調査業務 (離着陸場ガイドブックの作成) /大阪府

多種多様な事業者（不動産事業者、鉄道事業者、土地オーナー等）の空飛ぶクルマ関連ビジネスへの参入意欲を高めるため、大阪府が令和4年度に実施した空飛ぶクルマ社会実装事業環境調査の結果も踏まえながら、離着陸場の動向や関連ビジネスの調査・検討を行うとともに、国土交通省が令和5年10月頃に公表予定の「パーティポート整備指針の内容を分かりやすく解説するガイドブックを作成する取り組みに、兼松、Skyports、ANA総合研究所の皆様と携わりました。



令和6年度 まちづくりにおける空飛ぶクルマの離着陸場整備等に向けた検討調査業務/東京都都市整備局

都内での空飛ぶクルマの社会実装を見据え、空飛ぶクルマの基本的要件や活用方策案を整理し、空飛ぶクルマが普及した時点での将来像を描くことで、まちづくりに合わせた離着陸場の整備に向けて必要となる課題の整理を行うことを目的とした本業務を、ANA HD、パシフィックコンサルタンツ、日建設計総合研究所の皆様と取り組みました。 検討調査項目：空飛ぶクルマに関する前提条件整理 / 都内における空飛ぶクルマの活用方策案 / イメージパースの作成 / 離着陸場の整備に向けて検討すべき課題整理



まちづくり・建築づくりの計画・検討

検討時のイメージであり、今後変更の可能性あります。

築地地区まちづくり事業

陸・海・空の 広域交通結節点

都心臨海部における、まちづくり事業にて、三井不動産をはじめとする築地まちづくり株式会社の皆様と一緒に、陸・海・空のモビリティが乗り入れにぎわいと交流機能を備えた、快適なモビリティハブを計画しています。



多様なニーズに応える VPの基本構想・計画

改修・新築・浮体式

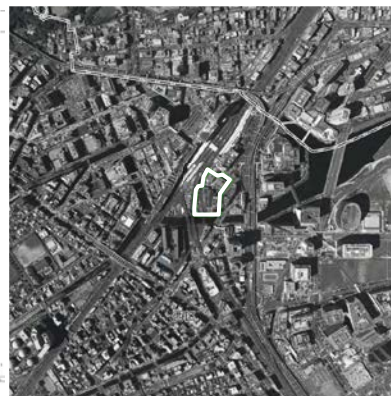
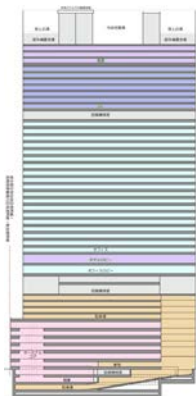
既存建築の緊急離着陸場改修・浮体式・既存交通と連携したパーティポートを含む一体的な計画や連携を、野村不動産の皆様と一緒に検討し、課題を整理しながら、新たな都市・建築像を構想・計画しています。



仮称)横浜駅みなみ東口 地区第一種市街地 再開発事業

超高層型パーティポート

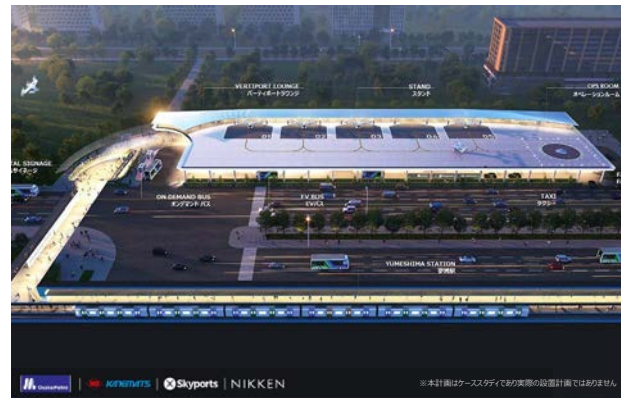
横浜駅周辺のさらなる国際化への対応・魅力向上を目指し、日本郵政不動産株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、京浜急行電鉄株式会社をはじめとする横浜駅みなみ東口地区市街地再開発準備組合の皆様と一緒に計画を進めています。



駅と統合された離着陸場 調査・ケーススタディ

モビリティハブ

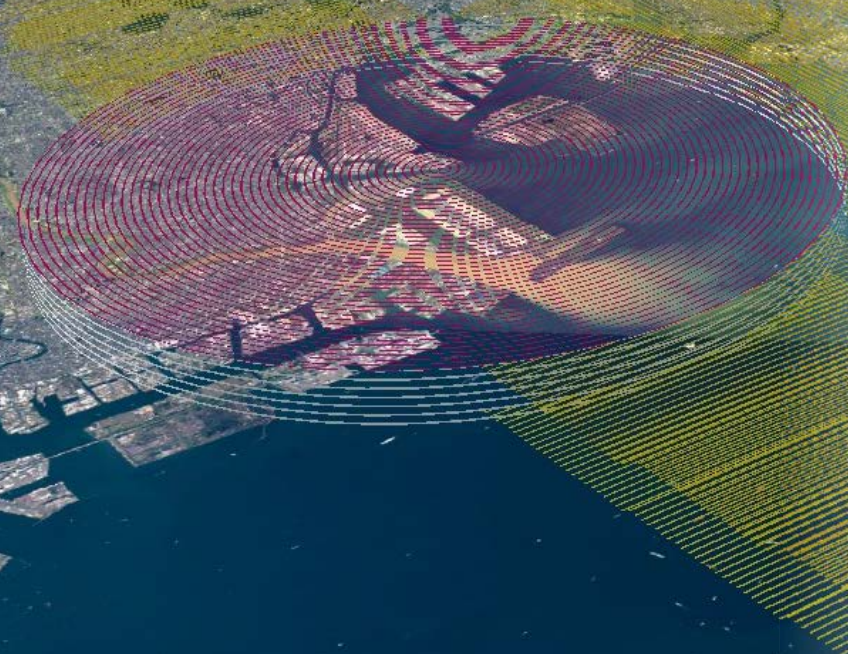
大阪府市の補助金公募事業に採択された Osaka Metro の駅・関連施設と統合された空飛ぶクルマの離着陸場に関する調査において、5 スタンドを有するVPおよびモビリティハブの課題や効果を整理するケーススタディを皆様と行いました。



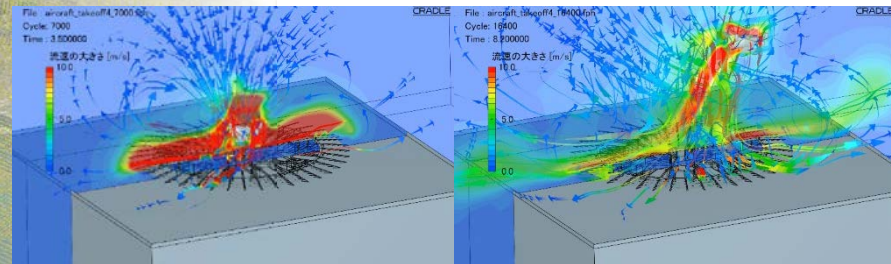
※本計画はケーススタディで実際の設計計画ではありません。

課題感 管制・風・音

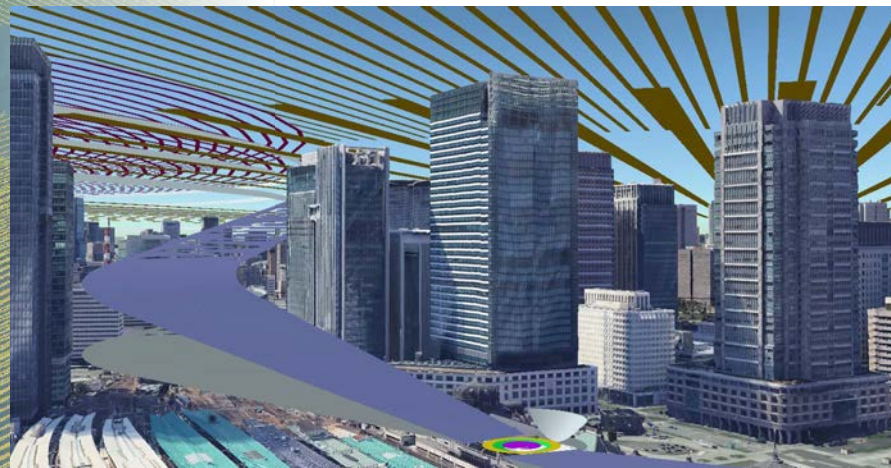
新たなモビリティと共生する 都市・建築を実現するためには、
管制・環境（風・音）などの横断的知見による課題解決が必要と考えています。



東京管制圏、第一・第二特別管制区を都市と共に見る
Google Photorealistic 3D Tiles を使用



建物が発生させる風、機体から発生する風、音、
これらを環境デザインへと発展させる提案に取り組んでいます。



地上のルールと空のルール
新しいモビリティの社会実装を支え、ワクワクする未来を共創していきましょう。

次世代エアモビリティを社会実装する、 まちづくり・建築づくりを 総合的にサポートいたします。

エアモビリティが解決する課題や、新しいまち・建築の目指すべき姿を作成・発信します。
先ずは意見交換・最新動向レクチャー・イメージ作成からお気軽にご相談ください。

まちづくり・土地利用・建築・改修といった
全てのスケールでの事業構想検討が可能です。



NIKKEN

EXPERIENCE, INTEGRATED